



海上保安庁

令和3年12月28日

福德岡ノ場の火山活動について（12月27日観測）

1. 状況

12月27日、第三管区海上保安本部羽田航空基地所属航空機により観測を実施しました。主な観測結果は以下のとおりです。

〔観測結果〕

- ・ 新 島：12月14日の観測結果と比較し、新島は縮小しており、波浪により陸地が見え隠れしている状況であった。
- ・ 活 動：観測中の噴火は認められなかった。
- ・ 変 色 水：新島の東側から茶褐色の変色水の湧出を認め、同位置から東側約5kmにかけて黄緑色の変色水の分布を認めた。
福德岡ノ場の東約5km付近に長さ約400m弱の軽石と思われる筋状の浮遊物を認めた。

2. 東京工業大学理学院火山流体研究センター 野上健治教授（航空機同乗）のコメントは以下のとおりです。

福德岡ノ場の8月の噴火で形成された陸地は波浪によって消滅しつつある。一方、噴火地点から変色水域が現在も比較的に広範囲に広がっており、熱活動は活発に継続している。南硫黄島の海岸のほぼ全周にも変色水域があり、福德岡ノ場を含めた海域の活動を注視する必要がある。

当庁が実施した調査結果は、随時、海上保安庁海洋情報部HPの「海域火山データベース」にて公開しています。

Web アドレス：<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/kaiikiDB/list-2.htm>



図1 白波に覆われる新島の様子(2021年12月27日13:04撮影)



図2 福島第一原子力発電所付近の変色水の様子(2021年12月27日12:42撮影)



図3 福徳岡ノ場付近の軽石と思われる浮遊物の様子(2021年12月27日12:41撮影)

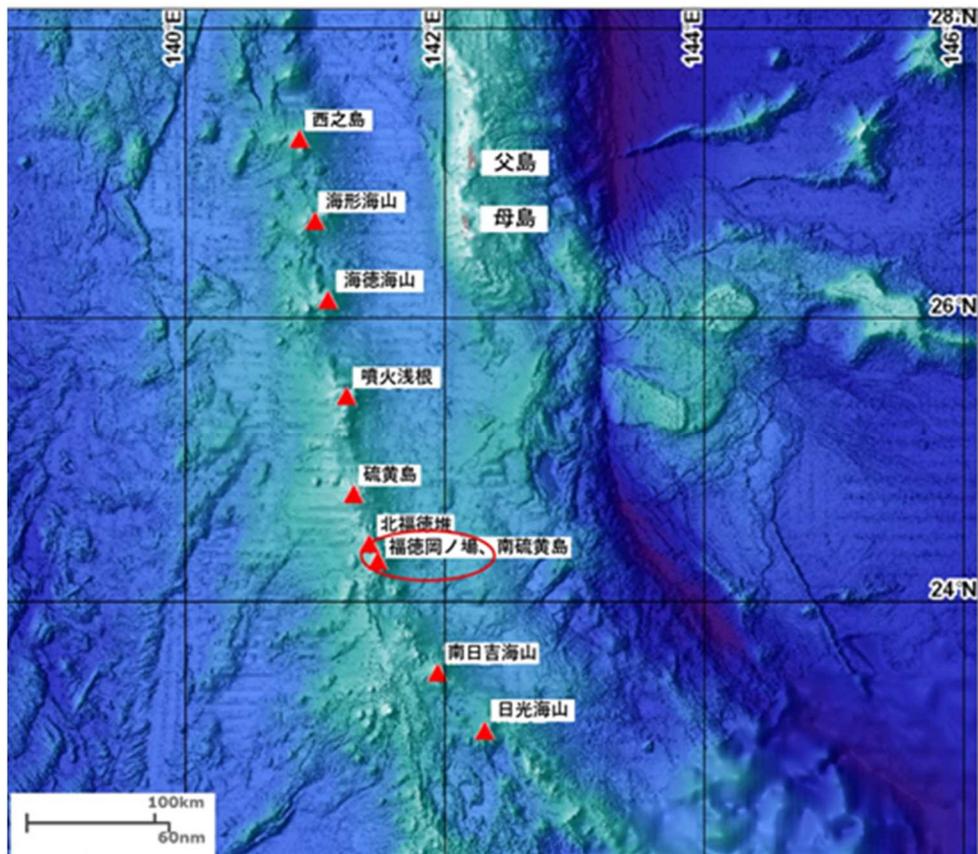


図4 福徳岡ノ場の位置図

出典：海洋状況表示システム Web アドレス：<https://www.msil.go.jp/>